

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」 2025年1月8日 実施報告

参加者：親子11組（子ども12名）

担当：心理学部学生13名（プログラム実施 C2班 7名 / 補助・受付 C2班 6名）

指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：まだまだお正月を楽しもう！

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回はお正月をテーマに、だるまを作って遊ぶプログラムを行いました。はじめに絵本「おしょうがつバス」の読み聞かせを行いました。十二支を順番に指をさして見せると、お子さんたちは興味深そうに指を目で追っていました。また、「こちょこちょ！」といった動きのある場面では、保護者の方がお子さんをくすぐり、大いに盛り上がりました。絵本の絵は学生の手描きで作られたもので、お子さんだけでなく保護者の方も興味を持ってくださいました。

次に、オリジナルのだるま作りをしました。顔のないだるまにクレヨンで顔を作り、シールを貼ってだるまをデコレーションしてもらいました。ウインクをした目を描く子や、吊り上がった眉を描く子、キラキラのシールをたくさん貼る子など、一人一人違ったお顔のだるまが見られました。その後は作っただるまでだるま落としを行いました。色をそろえて積み上げる子や、積み上げただるまを倒して遊ぶ子など、遊び方も様々でした。倒れないように工夫しながら慎重に積み上げ、自分の背より高く積み上げた子もいました。全てのだるまには鈴が入っており、積むのが難しい子は振って音を楽しんでもらいました。はじめは「貼る」という行為が難しかったお子さんも、学生の動きを模倣して、自分からペタペタとすることができていました。作っただるまは、お土産に持って帰ってもらいました。

最後に、本プログラムの目的である「発達と機能的遊び」について説明しました。ご家庭でも、遊び方の幅が広がるような機能的遊びを楽しんでいただけたらと思います。ご参加いただきありがとうございました。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」 2024年12月18日 実施報告

参加者：親子 16 組（子ども 17 名）

担当：心理学部学生 13 名（プログラム実施 C-2 班 6 名 / 補助・受付 C-2 班 7 名）

指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：サンタさんとわいわいクリスマス会～絵本読みとクリスマスリース作り～

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は、絵本「まどからのおくりもの」の世界観を主軸に、クリスマス为主题として絵本の読み聞かせとリース作りを親子で行うプログラムを実施しました。

最初に絵本の読み聞かせを実施しました。「絵本が始まるよー！」と声をかけたり指をさしたりすることで関心を集めました。お子さん達は、窓の向こうに見えるものに興味を示してページをめくろうとしてくれたり、絵本の絵を指さしたりしてくれました。

クリスマスリース作りではあらかじめ用意していた、紙皿のリースにシールや雪だるま等の飾りが入った作成キットを配り自分だけのリースを作ってもらいました。

「これ！」と言いながらサンタのシールを取り出し、シールを自分ではがして、リースに貼り付けることができたお子さんは、そのリースを学生に見せに来てくれました。しばらくすると、鈴の音とともにサンタさんが大きな窓から顔を出し、「メリークリスマス！」と挨拶しました。お子さんたちは「おー」と声を上げ、保護者と笑顔で顔を見合わせていました。サンタさんが白い袋を肩から下ろして広げると、大きなクリスマスリースとクリスマスツリーに飾る色々な形の飾りが入っていました。お子さんたちはフェルトや折り紙でできた飾りを手に取ったり、足で踏んでみたり、色々な動きを見せてくれました。飾りのテープを学生がはがしてお子さんに渡すと、恥ずかしそうにお母さんと一緒にツリーやリースに貼りに行き、貼ったとたんにお母さんの方に嬉しそうに駆け寄って、その後は自分からパーツを取りに行ってくれました。

親子で一緒に作成した世界に一つだけのリースを囲んでクリスマスを過ごしていただけると嬉しいです。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」 2024年11月27日 実施報告

参加者：親子17組（子ども18名）

担当：心理学部学生15名（プログラム実施 B-1班8名 / 補助・受付 B-2班7名）

指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 下村・高木

内容：親子でふれあおう！ちびっこだるまさん大募集！

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、親子でのふれあいをテーマに絵本「だるまさんと」を再現するプログラムを行いました。はじめに絵本「だるまさんと」の読み聞かせを行うと、お子さんたちは絵本の前に集まり、夢中になって物語を聞いてくれました。その後、お子さんにはポンチョ型のだるまさんの衣装、もしくはだるまさんのワッペンを身につけていただき、親子で絵本の内容に沿ったふれあいを体験してもらいました。だるまさんやくだものに扮した学生が前でお手本を見せると、お子さんたちはだるまさんになりきり、親御さんと「ぺこっ」とお辞儀をしたり、「ぽにんっ」とおしりを合わせたり、「ぎゅっ」とハグをしたりと親子のふれあいを楽しみました。一連の流れを何度も繰り返し行うことで、お手本の動きをまねする模倣能力が育つだけでなく、次の動きを予想しながら上達する楽しさを実感してもらいました。また、新しいお友達として絵本にいないぶどうさんが登場すると「ぶどうさんだ！」と盛り上がり、ぶどうさんの動きである「にこっ」と頬に指をあて親子で笑い合うしぐさを積極的に行ってくれました。前でお手本をしている学生の元まで来て、学生と一緒に「にこっ」としてくれるお子さんや、保護者の方に頬を触ってもらい微笑むお子さんの姿も見られました。最後に、プログラムの目的である「模倣能力と親子の触れ合い」について保護者の方へ説明を行いました。使用しただるまさんの衣装やワッペンはお土産としてお持ち帰りしていただきました。ご家庭でもちびっこだるまさんとのふれあいを楽しんでいただけたらと思います。ご参加いただいたご家族の皆さん、ありがとうございました。



文責：B-1班 今井, 大竹, 熊谷, 四宮, 知野, 福元, 馬淵, 松本

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」 2024年11月20日 実施報告

参加者：親子6組（子ども6名）

担当：心理学部学生15名（プログラム実施 B-2班7名 / 補助・受付 B-1班8名）
指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 福本・矢崎

内容：秋の大収穫祭

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今日は、食欲の秋にちなんで「秋の大収穫祭」というプログラムを企画しました。初めに、「秋といえば？」の質問をしました。すると、「ぶどう」や「おいも」という答えが出てきたので、「おいも」にちなんで「やきいもグーチーパー」を手拍子に合わせてみんなで歌いました。

歌い終わると、どーじょーせんせいが「やきいもってみんなが言うから、お腹が減ってきたー！」「グーグーいってる、どうしよう??」と登場しました。そこで、みんなでどーじょーせんせいのために秋のお鍋を作ることにしました。

お部屋に作られた2か所の落ち葉の山や池の中から、秋の食材を探してお鍋に入れるようお願いしました。すると、お子さんたちは落ち葉をかき分け、フェルトで作ったさつまいもを見つけたり、池から発泡スチロールやフェルトでできた魚を釣り上げて、お鍋の中に入れてくれました。さつまいもはマジックテープで覆われた皮がはがれるようになっていて、お子さんたちは学生や保護者の手を借りて皮をはがし、中身が見えると目を見開いて喜んでくれていました。小さなお子さんも見つけた食材を手でにぎにぎしてみたり、口に持って行って確かめてみたり、思い思いに楽しんでくれていたようでした。最後に集まった食材でお鍋を作り、どーじょーせんせいのお腹はいっぱいになりました！

落ち葉や食材は、紙や発泡スチロール、フェルトなどで作られており、感触を楽しんでもらえるように工夫しました。また、ストーリー仕立てにすることでお子さんにとっても保護者の方にとってもプログラムに対して取り組みやすさが出たかなと思います。今回は手で持って運んで放すという、手の運動を意識してプログラムを作りました。プログラム終了後に、ご自宅でも遊びたいとのことで、私たちが作成したキノコやさつまいもなどを持って帰りたいというリクエストがあり、学生一同大変うれしかったです！



子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年10月30日 実施報告

参加者：親子18組（子ども21名）

担当：心理学部学生15名（プログラム実施A1班・補助A2班・受付A1班）

指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 下村・高木

内容：ハロウィンパーティー



タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ



今回は、ハロウィンパーティーをテーマに「手形でお化けアート」「お化け探し」を行いました。集まってくださったお子さんの中には、ミツバチやポテト、キャラクターなどのかわいい衣装を身につけて仮装している子もいて、パーティーを盛り上げてくれていました。学生も負けずにハロウィンモチーフにしたカチューシャや帽子などを身につけてお迎えしました。

最初に「お化けアート」を楽しみました。白い指絵の具を筆で手に塗り、手を画用紙に押ししてお化けを作りました。お子さんたちは、自分の手に絵の具が塗られると、その手をじっと見たり、保護者と顔を見合わせて笑ったり、絵の具と筆の感触を楽しんでいるようでした。手形を何個も押ししてお化けを作る子や、一つだけ手形をつけてお化けを作る子、足に絵の具を塗ってお化けを作る子など色んな種類のお化けを作っていました。中には、別のお子さんに「こうするんだよー」と教えている子もいました。

次に「お化け探し」をしました。かぼちゃの形の小さな籠を配り、部屋に貼られたたくさんの小さなお化けを見つけ、籠の中に集めてもらいました。保護者と一緒に探す子、1人で動き回って探す子、棚と棚の間を覗き込んでいる子など、色んな場所を熱心に探してくれていました。集めたお化けは、最後にお菓子と交換しました。

終わりの挨拶では、このプログラムの目的である筆や絵の具の感触を楽しんでもらうことを説明しました。保護者のみなさまのご協力のおかげで、安全に楽しく実施することができました。

文責：A1班 上野、藪根、永田、岸之上、今住、近藤、野崎、成瀬

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」 2024年10月23日 実施報告

参加者：親子11組（子ども12名）

担当：心理学部学生15名（プログラム実施A2班・補助A1班・受付A2班）

指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ2名 福本・矢崎

内容：秋の運動会を楽しもう！

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ



今回のプログラムでは「秋の運動会を楽しもう！」のテーマのもと、それぞれの年齢の発達段階に応じた体の動きを取り入れた遊びを行いました。はじめのお名前呼びでは、学生が目の前にタンバリンを持っていくと元気よく叩く様子が見られ、中には走って自ら叩きに来てくれた子もいました。準備運動も兼ねた動物まねっこでは、「ぴよんぴよん」「ぱたぱた」といったオノマトペを用いることで、動物の動きをイメージしやすくなるよう心がけました。子どもたちは動物の名前を言ったり学生の動きを真似してくれたりと積極的に参加してくれました。その後は競技である「玉入れ」「ボーリング」を年齢に合わせて行いました。玉入れではテープや綿などで作った異なる感触のボールを楽しみながら、一生懸命ダンボールのカゴに入れてくれました。ボーリングでは、ペットボトルにビーズを入れて作ったピンを上手く倒す子、ピンを振って音を楽しむ子など、それぞれが色々な楽しみ方を見つけてくれました。最後の「チェッチェッコリ」のダンスでは、音楽に合わせて楽しく踊れるようポンポンを作成し、少しずつ早くなる音に合わせてみんなで踊りました。少し難しい動きでしたが、ポンポンを持ってリズムにのるような動きをしてくれた子もいました。

プログラム終了後には、運動会を頑張った印に学生が手作りのメダルを持ち帰ってもらいました。また、最後に今回行ってもらった動きが発達段階に対応したものであることの説明をさせて頂きました。参加人数も多く、学生の手が届きにくい場面もありましたが、保護者の皆様のサポートもあり無事にプログラムを終えることが出来ました。メダルは親子間での思い出として、大切にさせて頂けると嬉しいです。ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年7月17日 実施報告

参加者：親子9組（子ども10名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施C-2班・補助C-1班・受付C-1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 下村・矢崎

内容：夏祭りに行こう！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は夏祭りをテーマに季節感を感じてもらおうと共に、親子で協力して魚とりとボール転がしに挑戦してもらおうプログラムを行いました。

最初に花火に扮した学生が飛び出し、お祭りの雰囲気を作りました。それから徐々にお祭りの音楽の音量を上げ、「一緒に遊ぼう！」と声をかけて、「魚とり」と「ボール転がし」の屋台に招きました。

魚とりでは、大きさや色、表情の違う魚を用意し、視覚的に楽しんでもらえるようにしました。また、いくつかの魚の中には鈴を入れ、魚をつかむと音が鳴る仕掛けも準備しました。水に見立てたボールプールやビニール袋の間から、魚の顔がチラッと見えるようにしておくこと、お子さんたちは「何かな？」とのぞき込み、魚を持ち上げたり、どうぞと学生に渡したりしてくれました。鈴が鳴ると面白そうに振って遊んでいました。

ボール転がしでは、フェルトで作った果物を動物の口に滑り込ませる遊びを行いました。途中、フェルトで作った果物をお子さんに見せて、「何かな？」と問いかけると、「スイカ！」や「リンゴ！」と元気よく答えてくれました。小さなお子さんは果物を保護者の方や学生に「どうぞ」と渡して楽しんでくれていました。大きなお子さんたちは、果物を動物の口に上手に投げ入れて遊んでくれていました。

最後に目的である協力作業や遊びの段階について説明しました。捕れた魚や果物、メダルがご自宅での遊びのきっかけになれば幸いです。ご参加いただいたご家族の皆さん、関わっていただきました先生方ありがとうございました。



文責：C-2班 佐々木、波部、織田、五十嵐、高木、家永、田村、廣野

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年7月10日 実施報告

参加者：親子9組（子ども10名）

担当：心理学部学生7名（プログラム実施C-1班・補助C-2班・受付C-1・2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山・藤井 / 保育スタッフ 下村・福本

内容：たなばたで遊ぼう！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は七夕をテーマに、室内にある星を親子で集めてもらうプログラムを行いました。

はじめに絵本『たなばたバス』の読み聞かせを行いました。「5、4、3、2、1、ゴー！」の掛け声では、親子一緒に調子を合わせて大きな声を出して楽しみ、「ぐるぐるぐる！」や「こちょこちょ！」といった動きのある場面では、みんなで一緒に腕を振ったり、保護者の方がお子さんをくすぐったりして、大いに盛り上がりました。

次に、室内にある星を集めてもらう遊びを行いました。床に星型の画用紙や折り紙をちりばめ、それを拾ってもらうエリアと、スズランテープにくっついたフェルトの星を掴んで取ってもらうエリアの2つを用意しました。集めてもらった星は、夜空に見立てた群青の大きな画用紙に貼り付けてもらいました。画用紙の星をたくさん抱えて、両手でパタパタと貼ってくれたお子さんや、天の川に見立てたスズランテープに走って近づき小さな手を大きく伸ばして星を掴み取ってくれたお子さんもいました。スズランテープの星を全部取った後は、みんなでスズランテープをトンネルのようにしてぐり、楽しんでもらいました。はじめは「貼る」という行為が難しかったお子さんも、学生の動きを模倣して、自分からパタパタとすることができていました。完成した星の作品は、ホワイトボードに掲示して、「たなばたさま」の音楽を流し観賞しました。お子さんは体をゆらゆらさせて、手拍子をしてくれました。

最後に、本プログラムの目的である「発達と感覚遊び」について説明しました。お土産のフェルトの星も、喜んでいただけてうれしく思いました。ご家庭でも、感触を楽しめるような感覚遊びを楽しんでいただけたらと思います。ご参加いただきありがとうございました。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年6月19日 実施報告

参加者：親子4組（子ども4名）

担当：心理学部学生9名（プログラム実施B-2班・補助B-1班・受付B-1・2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 下村・福本

内容：動物に会ってなりきろう！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は動物をテーマに、まねっこや体で表現することの楽しさを感じてもらえるようなプログラムを行いました。

初めに、絵本『ごあいさつあそび』を用いて、一緒にお辞儀やかけ声をする遊びを行いました。「こんにちは」と絵本に合わせてお子さんたちにお辞儀をすると、学生の動作を見てまねをしてくれていました。また絵本を読む際には、お子さんたちの興味を引けるよう、声色を変えることや動作を入れることを意識して行いました。

次に大きなポケットを準備して、『ジャングルポケット』の歌に合わせて学生がポケットから動物を取り出していきました。ポケットを前に出すときやポケットから動物を取り出す時は、木琴や鈴を鳴らし、お子さんたちに「何だろう」と声をかけ、興味を持ってもらえるような工夫をしました。お子さんも取り出された動物やポケット本体に興味を示してくれて、自ら近づいたり、指で指したりしてくれました。

最後に保護者の方にもご協力いただき、動物になりきって、キーボードの音源に合わせて動いてもらう遊びをしました。まねをするだけでなく、動物のパネルにタッチもすることで、お子さんたちも楽しんでくれている様子でした。

プログラム終了後に、目的でもある模倣について説明させていただきました。お子さんたちの成長にも繋がってきますので、ぜひご自宅でも模倣を取り入れた遊びをしてもらえると学生一同大変うれしく思います！本プログラムにご参加いただき、本当にありがとうございました。



文責：B-2班 福島、佐原、新里、和田、片岡、セキ、松本、松尾、越智

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年6月12日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施B1班・補助・受付B1班/B2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：くだものどうぞ

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、絵本「くだものどうぞ」をもとにくだものを使った遊びを行いました。

はじめに、絵本「くだものどうぞ」を読み聞かせ、くだものを半分に切るときの「ザク、スパツ」といった音・形や色の変化を感じてもらいました。絵本の前まで出てきてくれたお子さんは、くだものを剥く仕掛けに興味津々で、手を伸ばしたり、驚いた表情をしたりしていました。読み聞かせ終了後、お腹をすかせたお爺さんにくだものを分け与えるという寸劇を行いました。お子さんには、木になっているフェルトでできたくだものをもぎ取り、実際にマジックテープを剥がして半分にしてみる体験をしてもらいました。保護者の方と一緒に好きなくだものを選び、ふわふわとしたフェルトを触ったり、マジックテープをバリバリと剥がしたり、手の運動を交えながら感触を楽しんでいました。はじめは「剥がす」という行為が難しかったお子さんも、保護者の方や学生の動きを見て模倣することができていました。また、「お爺さんにくだものをあげてみようか」と声をかけると、お爺さん役の学生に近づき、半分に上げてあげる場面が見られました。

最後に、本プログラムの目的である「感覚・運動器官の発達」について説明しました。お土産のフェルトのくだものをお喜びいただけて嬉しく思いました。ご家庭でも感触や音を楽しんでいただけたらと思います。ご参加いただきありがとうございました。



文責：B1班 今井、熊谷、馬淵、福元、大竹、知野、松本、四宮

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年5月22日 実施報告

参加者：親子11組（子ども11名）

担当：心理学部学生9名（プログラム実施 A2班 / 補助・受付 A1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 下村・福本

内容：絵本で遊ぼう（動物いろいろかくれんぼ）

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は絵本「動物いろいろかくれんぼ」を題材として、室内に隠れた動物を親子で探してもらうプログラムを行いました。また動物にちなんだふれあい遊びを行ってもらうことで親子の仲が深まるような内容を考えました。

はじめに、絵本の読み聞かせを行いました。色や形をヒントに、出てくる動物を想像してもらう内容でした。犬や猫などの身近な動物が出てくると、お子さんたちが動物の名前を呼んだり、「おー！」と声をあげたりしてくれて、大きく盛り上がりました。次に、室内に隠された動物の切り絵を親子で探してもらいました。各動物にはその動物にちなんだふれあい遊びが用意されており、それらを親子で行ってもらいました。動物を理解できるお子さんたちには動物を探して発見する遊びを、まだ動物についてまだ理解が難しいお子さんたちには、親子で抱き合ってもらったり、お子さんを撫でてもらうたりと、ふれあい遊びを楽しんでもらいました。

最後には学生が用意した動物のシールを用いて画用紙に自分だけの動物園を作り、今回のプログラムの思い出の品としてご自宅へ持ち帰っていただきました。

保護者のご協力もあり、お子さんたちが移動する時にぶつかることなく、安全に行うことができました。ご参加くださったご家族、先生方、スタッフの方々、ありがとうございました。



文責：A2班 三浦、森上、高橋、宮田、松原、古川、井上、籠谷、石川

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年5月15日 実施報告

参加者：親子8組（子ども9名）

担当：心理学部学生 17名（プログラム実施 A1班 / 補助・受付 A2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：野菜収穫体験

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、お子さんと保護者の皆さんと一緒に楽しめるだけでなく、他のお友達と掛け声を合わせたり一緒に体を動かすことを目的に、絵本「やさいさん」を題材にした遊びを行いました。「やさいさん」の読み聞かせを行った後、手で触って楽しんでもらうことを目的に、野菜収穫体験を行いました。1歳半以上のお子さんたちは野菜の種類と形、色の違いを実際収穫体験を通して感じていただけるように、また、1歳半未満のお子さんたちには、モノを掴んで引っこ抜く感覚を楽しんでいただけるように、絵本の内容に合わせて、段ボールの土にフェルトで作った野菜を埋めた畑を作りました。お野菜は、小さいお子さんたちが掴んだ時に感触がいいように綿を詰める工夫をしたり、口に入れても安全のように大きく作成しました。好奇心旺盛なお子さんたちは、野菜を引っこ抜く感覚を楽しんでくれて、夢中になって引っこ抜いては戻したり、ぽいっとしたりして遊んでくれました。また、大きなだいこんをみんなで一緒に引っ張る際には、お子さんたちみんな掛け声を合わせてくれました。お子さんたちにお土産のお野菜を選んでもらうと、色のはっきりしているにんじんやさつまいも、大きなだいこんに人気が集まりました。

最後に、この度はお忙しい中、「がくせいとあそぼう」に参加していただきありがとうございました。「がくせいとあそぼう」を通して、お子さんの新たな一面を発見できたり、思い出になっていると嬉しいです。



文責：A1班 上野、藪根、永田、岸之上、今住、近藤、野崎、成瀬